

## 光

仏教寺院の境内にキリスト教の殉教者を弔う慰霊碑が建立された。禁教令下でも潜伏キリシタンを檀家として受け入れ、擁護してきた歴史がある長徳寺（一関市藤沢町保呂羽）。仏教とキリスト教関係者らが結集した「世紀」の除幕式に立

ち会い、畏怖の念から身震いがした。石碑に刻まれた「南無阿弥陀佛」の文字と十字架が金色に光輝く。住職が読経を上げ、神父は碑に聖水を、牧師は賛美歌を斉唱。宗教や宗派を超え、世界平和を祈る共通の思いがそこにはあった。まだまだ勉強が足りない身。開設25周年を過ぎた大籠キリシタン殉教公園（同町大籠）にも改めて訪れてみたい。外に目を向けると戦争が続く現代。何とかならないものかと、心が痛む。（渉）

記者  
わーぷろ  
11462